

青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和6年度 第224号 7月1日
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

第17回あおきっ子合宿

今年度のあおきっ子合宿は、5月19日(日)～25日(土)の6泊7日文化会館で行われ、青木小学校5、6年生の希望者29名と信州大学教育学部の学生33名が参加しました。

今回のテーマは「トライ」です。家族から離れて過ごす1週間の中で、たくさんの事にトライしてもらいたいと思い、「まずやってみる」、成功しても失敗しても成長できることに期待して大學生がこのテーマに決めました。小学校の先生方、保護者の皆さん等大勢の方々のご支援により、無事に終えることができました。



児童アンケート

質問①あおきっ子合宿で楽しかった事や思い出に残ったことは何ですか？

- ★きもだめし
- ★バイキング
- ★よふかし
- ★友達と温泉に行ったこと
- ★運動会（しっぽとり、フリスビー、人間知恵の輪）
- ★大學生とたくさん話したこと
- ★料理をしたこと
- ★お母さんに手紙をもらって
ないたこと



質問②この合宿で「成長することができた！」と思うところがありましたか？

- ★料理がうまくなった
- ★大學生に話しかけられるようになった
- ★ひとりでねれた
- ★皿あらいのくろうをしれた
- ★ゲームからはなれた
- ★はやくおきられるようになった
- ★親がいなくても自分で工夫してすごせた
- ★せいりせいとんができるようになった



質問③最後にお世話になった
大學生のみんなにメッセージを！

★みんなやさしく接してくれて、嬉しかった。色々困ることもあったけど、大學生がいつも近くにいたから、笑うことが出来





ました。ありがとうございました。

★1週間とても楽しかったです！！泣いた時もあり 😞
笑顔の時もありいろいろな感情があったけど、とても楽しくできた。

★ごはんつくってくれたり、いっしょにあそんでくれたり、いろいろなことをみんなも考えながら楽しいことをたくさんしてくれてありがとう。この1週間がかけがえのない思い出になってるよ！！大学生のみんな、

学校の先生になるのがんばってね。おうえんしてるよ。

★よく、朝におこしてくれたり、やさしくささえてくれたりいつも楽しく遊んでくれた大学生はとっても大好きです。また次のイベントを楽しみにまっています 😊

★楽しかった～友だちといっしょに1週間過ごして成長したこともあった。もう1回やりたいです。

★6年生にとって最後の1年。1年間、本気で遊んだり、勉強したりして、みんなとの思い出を作っていきたい。でも、クラスでは委員会や、それぞれの仕事があって、あまり休み時間にも休めなくて遊べない…という日々が続いていたけれど、あおきっ子合宿で一気にみんなと近づけて、とても嬉しかった。今思えば、この1週間とても大学生に「支えられたな。」って思います。毎年面白いきかくを作ってくれてありがとう。そして、そばにいてくれてありがとう。今年で最後だけど、よろしくね。いつもありがとう。

★あおきっ子通学合宿1週間、いっしょに遊んだりしてくれてありがとう。家でも、早ね早おき、食器あらいなど、色々なことをできるようにがんばるね。



大学生アンケート



★㊦昨年と比べて、手紙に対する感情の入り方が違

いました。1週間離れて保護者から本音を知ることは、子どもたちにとって新鮮でよい経験になったと思いました。子どもに関わる中で、自分というものを知ることもできました。厳しすぎる面や、甘やかすぎる面、どれもが初めて知る自分でした。今回の経験から、自分をより分析して、より良い教育者を目指したいです。

★㊦1週間と長い期間の企画で、今までの中で子どもたちと一番多く関わられたし、たくさんの事を学ばせてもらった。

★㊦今回初めて参加した。初日はみんな馴染んでいるところに入っていくのが大変だった。でも子どもたちと過ごすのが楽しかったし、日々充実していた。

★㊦参加して1人1人の子どもたちの良さや個性を感じられる1週間でした。時間が長い分、たくさん問題も起こり、それに対してどう対処するか、私も学び考えさせられた時間でした。子どもたちも私自身も成長できたのではないかなと感じています。

☆≡昨年より長い期間の合宿で、長い期間だからこそ見えることがたくさんありました。協力すること、仲が深まっていくこと、その子の素が見えてくることなど良いこともある一方、同じ空間に何日間もいるからこそ起こるケンカやトラブルなどもありました。涙を流して友だちと話し合ったり、学生が注意をしたりなど、普通の企画では出会えない場面にたくさん出会えました。



今回特に印象に残っているのは、お家の人からの手紙です。子どもたちの涙を見て、家族の大切さはもちろん、友だちの手紙を読んで大号泣し、「〇〇の親いい人だなあ」と伝え合っている姿に感動しました。誰かのことを思い合えるあおきっ子のステキな部分がたくさん出ていました。上手くいかないこと、ケンカを止めること、トラブルを解決すること、学生として真剣に向き合わなければいけない場面もありましたが、あおきっ子がいつもまっすぐ応えてくれる姿を見て頑張ったと思えました。

☆≡この合宿に参加して子どもたちが元気いっぱいだなあと思いました。私は夜しか来られなかったけれど、夜でも元気で自分まで元気をもらいました。肝試しを通して最初は怖がっていたけれど、終わった後は笑顔で「怖かったー。」「楽しかった。」と言っていて、子どもの成長を感じました。今回は活動に参加する時間がなく、ご飯や自由時間にしか来られなかったけれど、仲良くなることができました。もし活動に参加できたら、もっと子どもたちと仲良くなれるのかなと思ったので、次回参加することができたら色々な活動に参加したいです。とても楽しかったです。ありがとうございました。

☆≡3回とも夕食から就寝の参加でしたが、子どもたちの良いところがたくさん見られ、とても楽しかったです。夕食の配膳では自分の





ものだけではなく、何度も色々な人の分まで運んでくれる人がたくさんいました。片付けではそれぞれの班が分担して、とても早く片付けを終わらせることができすぎいなと思いました。肝試しの時には子どもたちでグループを分けられるのかと心配に思っていました。子どもたち同士で話し

合い決めることが出来ました。今回参加できてよかったです！ありがとうございました！！

☆≡私は今回の通学合宿が初めての参加でした。前は冬の大三角に参加しましたが行事という感じで、1週間、家に帰らず学校と文化会館を行き来するという日常に近い企画はとても新鮮でした。私は特に子どもたちが親御さんたちからのお手紙をもらっている様子がとても印象に残っています。私は自分の教育観として、子どもと接する時に人と人として向き合うことを意識しています。しかし、手紙を読んでいる子どもたちの姿はまさに子ども

でした。普段強気にしている子も寂しさを感じたり、親御さんの大切さ、当たり前のあるありがたさを感じて、涙を流している姿はとても印象的でした。自分がこれから向き合うのは子どもでもあり、人でもある。その両方の側面がどちらも同じようであることを実感した合宿でした。学び多き1週間でした。ありがとうございました。

今年度のテーマは、 **トライ** 



- ☆≡ 1週間、青木の通学合宿に参加させていただきありがとうございました。合宿を通して子どもの持っている優しさに気づくことができました。青木の子どもたちはいつも笑顔で、子ども同士でも学生とも仲良しです。しかし、会話の節々に“とげ”のある言葉を使う子が多いと感じました。今後改善しなければいけないことだと思いました。子どもたちの持っている内なる優しさを信じて、これから子どもに接していきたいと思います。
- ☆≡ 班の中で子ども同士の喧嘩があったり、気まずい時もあったが、係の仕事や当番ではみんな協力して仲良く過ごすことができた。喧嘩についてのきっかけは私が作ってしまい、どのタイミングで止めればよかったのか考えたが、介入するタイミングが難しいと思った。前回の冬の大三角より少し大人びた5、6年生ではなく、子どもらしい甘えた姿も見られて楽しかった。
- ☆≡ 今まで子どもたちと話したり、遊んだりする機会があまりなかったため、いい経験になりました。自分から話しかける事が出来るのか不安だったけど、子どもたちからどんどん話しかけてくれて緊張が解けました。自分から声をかけること、名前と顔を覚えることが一番大切だと知りました。
- ☆≡ 話し合いになると先頭に立って話し始めてくれる積極性がある子。自分の意見を主張できる子。最後まで洗い物を手伝ってくれる子。食後の片付けを素早く手伝ってくれる子。笑顔が増えた子。この合宿を通してあおき子と絆を深めることが出来たと思います。これからも活動に参加したいと思います。



編集後記

今年は参加希望者が多数あり残念ながら4年生は参加出来ませんでした。子どもたちからは、イベントや活動のリクエストがたくさん来ています。今後も大学生の皆さんと交流できる機会がたくさんあるといいですね。

